

## ☆ 東北管内の動き

### 1 「東北大豆セミナーinいわて」について

平成28年9月6日(火)に岩手県北上市及び奥州市において「東北大豆セミナーinいわて」を開催しました。岩手県内外から大豆生産者をはじめ、JA関係者、普及組織、試験研究機関、行政機関など170名が参加しました。

#### (1) 室内検討会について

##### ① 第11回東北大豆ピカイチ大賞表彰式

東北ブロック豆類経営改善共励会審査委員長である東北農業研究センター菊池審査委員長の審査講評の後、東北農政局上口地方参事官から、東北地域大豆振興協議会長賞に選ばれた、農事組合法人青山農場 五十嵐理事及び小貫集落営農組合 高橋組合長へ表彰状が授与されました。また、表彰状授与者から優良取組事例の発表が行われました。



#### ＝審査講評＝

大豆経営の部：農事組合法人青山農場

(山形県三川町)

水田畑地化事業(山形県単事業)に平成19年度から取り組み15haに排水対策及び地下かんがいシステムを整備。

設立当初より、後継者確保のために、①構成員は65歳で組合を脱退、②その後希望する場合は69歳まで従業員として雇用、③新たな構成員は集落内の希望者から選考、の取り決めを実行し、現在は40代の構成員も在籍。



#### ＝審査講評＝

大豆集団の部：小貫集落営農組合

(秋田県大仙市大曲)

大豆20.2ha(うち種子大豆2.2ha)にリュウホウを作付けし、大仙市の平成27年産平均収量209kg/10aを30kg上回る242kg/10aと非常に高い収量である。

「大仙市大豆栽培モデル対策事業」の実証ほ場3地区のうちの1つとして協力し、東北農業研究センター大仙研究拠点から技術指導を受け、①葉面散布追肥、②培土期追肥の新技术を導入。